



▲1位で1区から2区にタスキをつなぐ北条中

冬の善防を駆ける 伝統の駅伝大会

1月17日、善防中学校周辺コースで加西市陸上競技協会主催の「第54回市民駅伝競走大会」が開催されました。チームの思いを乗せたタスキをつなぎ、白熱したレースが繰り広げられました。一般の部1部で大会記録を更新した北条中Aの藤田晴大さん(1区・区間新記録・北条中2年)は「チームの新記録が嬉しい」と思いを語りました。

思いやりの心 大きく咲かせて

2月2日、富田・下里・富合・西在田・泉小学校と加西特別支援学校で「人権の花運動」の感謝状贈呈式を行いました。この運動は、東はりま人権啓発活動地域ネットワーク協議会が実施し、児童が協力して花を育てる中で生命の尊さを学び、豊かな心を育む啓発活動です。花を愛でる活動を通じ、子どもたちの心には、優しさと思いやりの花が大切に育まれています。



▲感謝状を贈呈する様子(左から北播人権擁護委員協議会加西部会長、神戸地方方法務局支局長、西在田小児童)

誰もが使いやすい学校に 下里小

1月23日、下里小学校4年生27人が令和10年4月の学校統合を見据えた誰もが使いやすい校舎を市職員へ提案しました。児童たちは車いすやアイマスク体験などで感じた不便さを元に、学校の段差解消や手すり設置などの必要性を発表しました。古谷萌乃さんは「設備だけでなく、声をかける優しさも大切だと感じた」と施設面だけでなく思いやりの心の大切さについても伝えました。



▲階段に手すりや点字ブロックを取り付けるアイデアなど、具体的に提案する児童たち

「午」の大絵馬を展示 泉よつばこども園

1月5日～2月6日まで、市役所エントランスホールで泉よつばこども園の5歳児27人が制作した大きな「干支の絵馬」(2メートル×2.9メートル)が展示されました。令和8年の干支である「午」を題材に、たてがみや尻尾を園児たちの手型で表現した力作です。子どもたちのパワーが詰まった絵馬が、来庁者を温かく出迎えました。



▲園児たちの小さな手型で表現された、たてがみや尻尾が印象的な大絵馬は、日吉神社(池上町)に奉納されています

心と体 健やかな人生を願って

1月24日、健康福祉会館で健康づくりや地域福祉について考える「かさい社協まつり・健康福祉まつり」が開催されました。防災講演会をはじめ、心や体の健康チェックや災害体験、歩行姿勢測定、認知症の疑似体験などが行われ、多くの人で賑わいました。さまざまな世代が、健康や地域福祉の大切さを再確認する1日となりました。



▲保護者の待つゴールを目指す赤ちゃんたち(はいはいレース)

震災の記憶を未来へ 賀茂小

1月13日～16日、賀茂小学校で防災意識の向上を目的とした「防災週間」が実施されました。阪神・淡路大震災の教訓を継承しようと、毎朝の校内放送で教員や地域ボランティアが震災当時の子どもの手記を朗読し、児童らは真剣に耳を傾けました。最終日には避難訓練を実施し、全校生104人が体を守る行動を取り、素早く校庭に避難しました。



▲酒見寺多宝塔より出火延焼中との想定で放水訓練が行われ、真剣な眼差しでホースを握る団員たち

万が一に備えて 陸上自衛隊と無線通信訓練

1月23日、市役所周辺で南海レスキュー訓練が実施され、陸上自衛隊第8高射特科群第343高射中隊の3人が、青野原駐屯地との無線通信訓練を行いました。この訓練は、南海トラフ地震などの大規模災害時に備え、市と自衛隊との連絡手段を確保することが目的です。今後も関係機関と連携し、災害への備えを進めていきます。



▲朗読する地域ボランティア「ばらんこ」の市浦央子代表

守ろう地域の宝 雪降る中で防火訓練

1月25日、「第72回文化財防火デー」に伴い、関係機関の初動体制の確立などを目的に防火訓練が実施されました。消防署員や消防団員ら約200人が参加し、貴重な文化財を火災から守るための訓練として、泉生山酒見寺と法華山一乗寺でそれぞれ放水訓練を行いました。歴史遺産を後世に残す重要性を再認識し、地域の防災意識を高める1日となりました。



▲車両に搭載された無線機を使い、通信状況を確認する隊員(=市役所駐車場)

めくもりを届けて 加西特別支援学校

12月12日、加西特別支援学校で「第32回わかばフェスティバル」が開催され、多くの保護者らで賑わいました。高等部のブースでは、陶芸や布製品が並び、生徒たちは接客に少し緊張しながらも、丁寧に作品を手渡し、販売しました。一生懸命に活動に取り組み、実りのある時間を過ごしました。



▲「いかがですか」と笑顔で手作り製品を販売する高等部の生徒

気候変動対策で環境大臣表彰 平田運輸株式会社

12月5日、平田運輸株式会社が「気候変動の緩和」および「気候変動への適応」に関し顕著な功績のあった団体として、令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰を受賞しました。通常はそれぞれにトラックが必要となる製品輸送と金属スクラップなどの再生資源物回収を1台で行い、荷物を載せずに走行するムダを削減し、燃料の節約によるCO2排出量削減に努めています。



▲加西市は、令和4年に平田運輸株式会社と地域活性化に関する包括連携協定を締結(写真は平田優宇社長)